

生物科学学会連合 第 25 回定例会議 議事録(案)

日 時：2022 年 7 月 26 日（火）16:00～18:00

場 所：オンラインによる開催

出欠状況：

出席（加盟団体）： *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員（副代表ならびに運営委員は候補者）

小林 武彦*（生科連 2021-2022 代表）

井関 祥子（生科連副代表） 松永 幸大（生科連副代表）

中野 明彦 片山 豪* 後藤由季子

団体代表

宮下 直*（個体群生態学会）

東原 和成（日本味と匂学会）

二川 健（日本宇宙生物科学会）

小根山千歳（日本細胞生物学会）

三好 一郎（日本実験動物学会）

林 八寿子（日本植物形態学会）

西浜 竜一（日本植物生理学会）

竹居光太郎（日本神経化学会）

坂上 和弘（日本人類学会）

宮下 直*（日本生態学会）

今田 勝巳（日本生物物理学会）

南沢 享（日本生理学会）

中川 敦史（日本蛋白質科学会）

小川 宏人（日本動物学会）

和田 清二（日本比較生理生化学会）

押木 守（日本微生物生態学会）

岡田 由紀（日本分子生物学会）

竹内 理（日本免疫学会）

佐藤 均（染色体学会）

菱田 卓（日本遺伝学会）

寺田 純雄（日本解剖学会）

南 陽一（日本時間生物学会）

石田健一郎（日本植物学会）

河内 孝之（日本植物生理学会）

古賀 皓之（日本進化学会）

宮田麻理子（日本神経科学学会）

深水 昭吉（日本生化学会）

片山 豪*（日本生物教育学会）

渡邊 力也（日本生物物理学会）

小澤 一史（日本組織細胞化学会）

稲葉 一男（日本動物学会）

鎌田真由美（日本バイオインフォマティクス学会）

兵藤 晋（日本比較内分泌学会）

岡部 聡（日本微生物生態学会）

井手 竜也（日本分類学会連合）

諫田 泰成（日本薬理学会）

(計 32 団体)

欠席（加盟団体）： 日本農芸化学会 日本発生生物学会

(計 2 団体)

(加盟合計 34 団体)

出席：藤井 伸二（自然史学会連合）

大杉 美穂（会計監査委員）

宮下 直*（会計監査委員）

北島 薫（日本学術会議統合生物学委員会委員長）

松田 道行（日本学術会議基礎医学委員会委員長）

小林 武彦*（日本学術会議基礎生物学委員会委員長）

門脇 孝（日本医学会）

道上 達男（JBO 運営委員長）

岸本 健雄（国立沖縄自然史博物館設立準備委員会）

(敬称略、加盟団体名 50 音順)

事務局 村田 英樹、東海 春香

議題・報告：

1. 代表挨拶
小林代表より、第 25 回定例会議開催に当たり挨拶が述べられた。オブザーバーの紹介がなされた。
2. 前回議事録確認について
第 24 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。
3. 次期代表の選出について
松永副代表より、次回の定例会議では、生物科学学会連合規約および代表選出議決細則に基づき、次期代表の選挙が行われるとの説明がなされた。
4. 令和 3 年度事業報告について
小林代表より、資料に基づき令和 3 年度事業報告について、定例会議、運営委員会、各種委員会などの活動の報告がなされた。
審議の結果、令和 3 年度事業報告について異議なく承認された。
5. 令和 3 年度会計報告について
事務局より、資料に基づき令和 3 年度決算報告について、ほぼ例年通りだが、寄付金収入で収入が増えていること、入試問題セット作成費、大学入試問題正解購入費が活動費に計上されている旨が説明がなされた。会計監査が時節柄できていないため、会計監査後、会計監査委員より定例会議で報告されることとなった。
6. 関連国際会議について
小林代表より、時節柄国際会議の開催は難しいが、周知したい国際会議がある場合、情報を提供して欲しいと依頼がなされた。
7. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について
道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、第 33 回国際生物学オリンピックがアルメニアにて現地開催されて、4 名が出場したと報告がなされた。また、日本生物学オリンピックの予選が 7 月に開催されて約 3000 名が参加し、9 月には本選が行われるとの報告がなされた。
8. 研究費・人材育成委員会について
井関副代表（委員長）より、若手研究者支援に関する調査について、7 月 22 日までに頂戴した回答の共有がなされた。本調査について、7 月末まで回答期限を延ばすので、配布した定例会議資料を参照して調査に回答して欲しいと依頼がなされた。また、本調査を元に、研究費・人材育成委員会にて議論して報告する旨、説明がなされた。
9. 生物教育・大学入試問題検討委員会について
片山委員長より、高等学校の生物教育における教育用語集の作成について、今後の事業計画として、2019 年に日本学術会議が示した生物重要用語集のアップデート版を作成すると説明がなされた。また、今年度は「生物基礎」を中心に用語選定をして、2023 年度より、「生物」中心に用語選定を行い、その後、生物教育用語の解説書を作成していくと説明がなされた。

10. 地球生物プロジェクト委員会について

小林代表（委員長）より、今年度もシンポジウムおよび高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストが開催されると説明がなされた。高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストについては、7月20日より募集が始まっており、加盟団体に周知協力の依頼がなされた。

11. 学会誌（欧文）のアンケート結果について

小林代表より、学会誌（欧文）のアンケートについて、第25回定例会議までに頂戴した回答の共有がなされた。学会誌作成について、査読者の不足やPaper Millを疑う論文が増えている等、苦勞している点の情報が共有された。また、生物系総合誌あるいは科学全般の総合誌立ち上げについての意見交換がなされた。

12. 政策アンケートについて

小林代表より、政策アンケートについて回答の共有がなされた。アンケートの調査時期、質問項目について意見交換がなされた。次期運営委員会に引継ぎ、継続して行うこととなった。

13. 日本学術会議について

小林代表より、「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について、現在募集が始まっており、各学会単位ではなく、生物科学学会連合として応募した方がよい学術振興構想がある場合、運営委員会で取りまとめて提案するため、知らせていただくよう依頼がなされた。

14. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について

岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

15. その他

オブザーバーで参加された先生方から第25回定例会議について意見を頂戴した。

以上